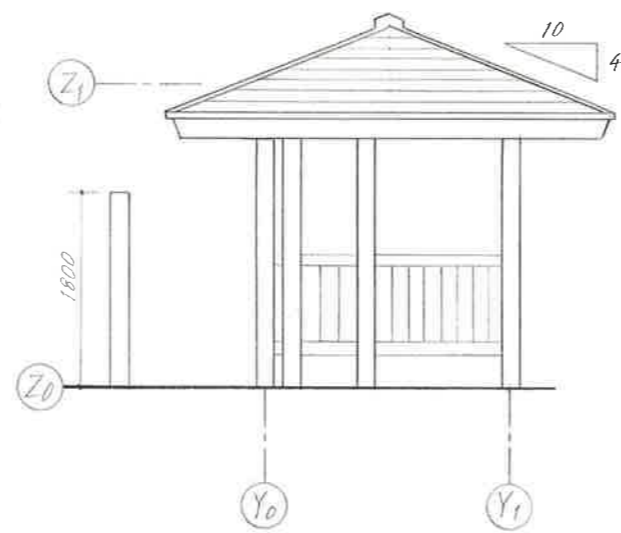


配置図兼平面図 1:50



東立面図 1:50



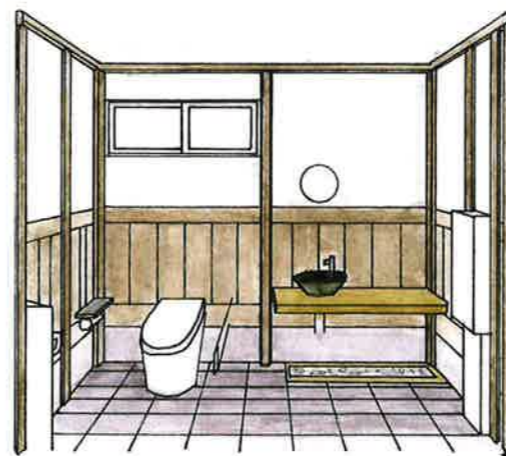
北立面図 1:50

コンセプト

昔の日本の家は、夏の蒸し暑さをしのぐために、たくさんの工夫をしていました。その工夫を参考に、通気性がよく心地よいトイレをコンセプトに設計しました。
壁は真壁とし、伝統的な小舞を下地とした塗壁としました。そのため、通気性が良いものとなっています。また、真壁は劣化した部分が見えるため、迅速な修理が可能です。塗壁は、雨や水道の水で濡れると、カビやぬがが発生してしまうという問題があります。勝壁をつけたリ軒の出を長くし、外壁があまり濡れない工夫をしました。トイレの出入口は車椅子でも通れるよう広めとし、男子トイレの前には、プライバシーを守るための塀を設けました。外構は和風の庭園を意識し、菖蒲やヤマボウシ、ツツジを植えました。

面積表

面積種類	計算式	計
敷地面積	10 × 10	100 m ²
建築面積	5.005 × 2.295	11.386 m ²
延べ面積	6.211 + 3.105 + 0.621	9.937 m ²
建ぺい率	11.385 ÷ 100 × 100	11.4%
容積率	9.937 ÷ 100 × 100	9.9%



多目的トイレ



男子トイレ

洗面カウンターは木製。洗面陶器は焼物。床には砂利を敷き、和を感じられるものとなりました。

多目的トイレの洗面カウンターは長めにし、粉物を置くようにはしました。

脚壁をつくり、水がはねても壁が劣化しないようにしました。